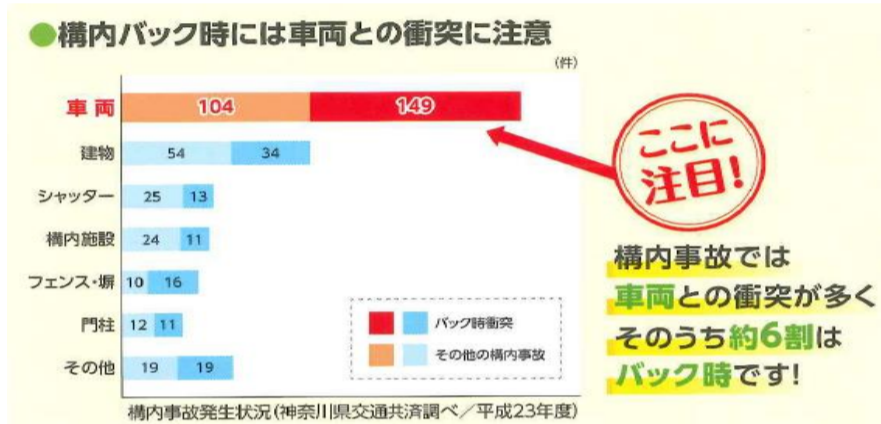


今月の重点管理目標 —バック事故の防止—

1

バックする前には 念入りに確認しよう

配送先に慣れても油断は禁物。バック事故は油断しがちな駐車場や構内等で多発するのが特徴です。後退する場合に少しでも不安を感じたら、容易にバックしないように意識づけましょう。



事故事例に学ぶ 安易にバックして電柱を倒し、停電

2011年、運送会社のトラックが荷積みしようとして荷主の工場敷地に入ったものの場内が混雑していたので、いったんバックで退場しようとした。少し車体を左側に寄せながら後退していて道路脇の電柱に後突、電柱が倒れて電線が切れ、工場周辺一帯が停電しました。

教訓 すぐに後退しないで
後方の安全を降りて確認し、
ゆっくりと車を動かそう



2

狭路での安全なバック を実技講習しよう

トラックは狭い場所で曲がってバックする場合、側壁や横の車などに接触する危険があります。各拠点の駐車場などにコースを設定し、ミラーの確認と安全な切り返し方法を講習しておきましょう。



狭路コースを作ってバック練習をしてみよう

3

ゴールデンウィーク中は バイクに注意

1年のうちでもっとも気候がよいゴールデンウィーク期間中は、ツーリングをするバイクが多くなります。バイクは小回りが効きますので、車両の間を縫うように走行したり、左側から抜いてきたり、予測しにくい行動をすることがあります。



事故防止の ヒント

バックモニターを信用し過ぎない

最近、バックモニターを搭載した車両も多いのですが、あくまで確認を補助する装置と考え信用し過ぎないようにしましょう。モニターは上方の映像などに限界があり、低い軒などに当たる危険があります。「降りて確認」が基本です。

